様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和　6　年　5　月　27　日

熊 本 県 知 事　　殿

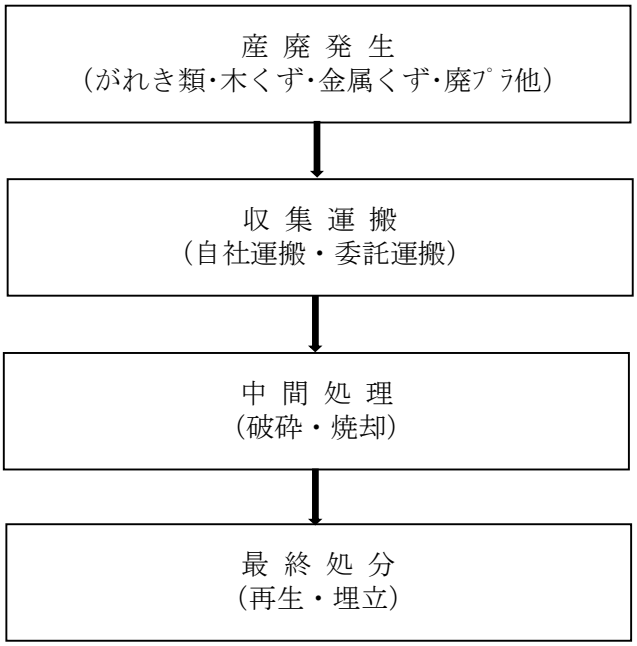
提出者
住所 熊本県天草郡苓北町都呂々９１６

氏名 前川建設株式会社
代表取締役　前川　敏士
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　０９６９－３６－００１５

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	前川建設株式会社
事業場の所在地	熊本県天草郡苓北町都呂々９１６
計画期間	令和　6　年　4　月　1　日　から　　令和　7　年　3　月　31　日　まで

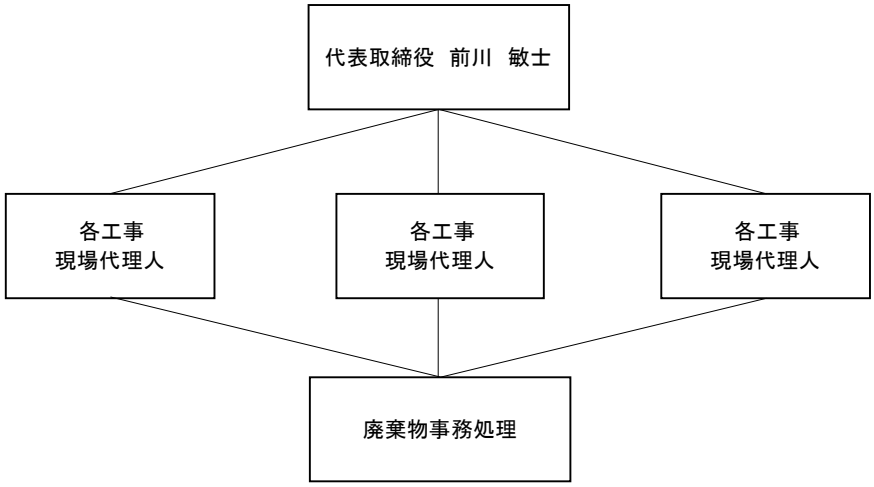
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	総合建設業
②事業の規模	元請完成工事高　１，３５０，７２４千円
③従業員数	２５人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	

（日本工業規格　A列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度　（　5　年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	木くず	金属くず	ｶﾞﾗｽくず･ｺﾝｸﾘｰﾄくず･陶磁器くず	がれき類	ｺﾝｸﾘがら	ｱｽｺﾝがら
排出量	2.070 t	7.520 t	452.400 t	0.226 t	0.640 t	38.720 t	1,249.930 t	627.760 t
産業廃棄物の種類	混合(安定型のみ)	混合(管理型含む)	水銀使用製品産業廃棄物					
排出量	1.300 t	0.260 t	0.001 t	t	t	t	t	t

（これまでに実施した取組）

工事施工計画の段階において、廃棄物の発生抑制を考慮した工法、資材等を採用するよう心掛けている。解体時等に現場より発生する廃棄物は、現場分別及び分別搬出を徹底し、再資源化を促進するように努めている。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	木くず	金属くず	ｶﾞﾗｽくず･ｺﾝｸﾘｰﾄくず･陶磁器くず	がれき類	ｺﾝｸﾘがら	ｱｽｺﾝがら
排出量	2.000 t	5.000 t	300.000 t	0.000 t	0.000 t	30.000 t	1,000.000 t	500.000 t
産業廃棄物の種類	混合(安定型のみ)	混合(管理型含む)	水銀使用製品産業廃棄物					
排出量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t	t

（今後実施する予定の計画）

これまでと同様に、産業廃棄物の排出の抑制に取り組む。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

コンクリートがら、アスファルトがら、汚泥、廃プラスチック、木くず、その他がれき類他にできる限りの分別を行い、搬出時の分別についても徹底するように努めている。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

これまでと同様に、できる限りの分別を行うように取り組む

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度　（　5　年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	木くず	金属くず	ｶﾞﾗｽくず･ｺﾝｸﾘｰﾄくず･陶磁器くず	がれき類	ｺﾝｸﾘがら	ｱｽｺﾝがら
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の種類	混合(安定型のみ)	混合(管理型含む)	水銀使用製品産業廃棄物					
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	木くず	金属くず	ｶﾞﾗｽくず･ｺﾝｸﾘｰﾄくず･陶磁器くず	がれき類	ｺﾝｸﾘがら	ｱｽｺﾝがら
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の種類	混合(安定型のみ)	混合(管理型含む)	水銀使用製品産業廃棄物					
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

（今後実施する予定の計画）

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度　（　5　年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	木くず	金属くず	ｶﾞﾗｽくず･ｺﾝｸﾘｰﾄくず･陶磁器くず	がれき類	ｺﾝｸﾘがら	ｱｽｺﾝがら
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の種類	混合(安定型のみ)	混合(管理型含む)	水銀使用製品産業廃棄物					
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	木くず	金属くず	ｶﾞﾗｽくず･ｺﾝｸﾘｰﾄくず･陶磁器くず	がれき類	ｺﾝｸﾘがら	ｱｽｺﾝがら
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の種類	混合(安定型のみ)	混合(管理型含む)	水銀使用製品産業廃棄物					
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

（今後実施する予定の計画）

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度　（　5　年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	木くず	金属くず	ｶﾞﾗｽくず･ｺﾝｸﾘｰﾄくず･陶磁器くず	がれき類	ｺﾝｸﾘがら	ｱｽｺﾝがら
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の種類	混合(安定型のみ)	混合(管理型含む)	水銀使用製品産業廃棄物					
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	木くず	金属くず	ｶﾞﾗｽくず･ｺﾝｸﾘｰﾄくず･陶磁器くず	がれき類	ｺﾝｸﾘがら	ｱｽｺﾝがら
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の種類	混合(安定型のみ)	混合(管理型含む)	水銀使用製品産業廃棄物					
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

（今後実施する予定の計画）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度　（　5　年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	木くず	金属くず	ｶﾞﾗｽくず･ｺﾝｸﾘｰﾄくず･陶磁器くず	がれき類	ｺﾝｸﾘがら	ｱｽｺﾝがら
全処理委託量	2.070 t	7.520 t	452.400 t	0.226 t	0.640 t	38.720 t	1,249.930 t	627.760 t
優良認定処理業者への処理委託量	t	0.070 t	t	0.226 t	t	t	t	t
再生利用業者への処理委託量	2.070 t	t	452.400 t	t	t	35.760 t	1,249.930 t	627.760 t
認定熱回収業者への処理委託料	t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の種類	混合(安定型のみ)	混合(管理型含む)	水銀使用製品産業廃棄物					
全処理委託量	1.300 t	0.260 t	0.001 t	t	t	t	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	t	0.260 t	t	t	t	t	t	t
再生利用業者への処理委託量	t	t	0.001 t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者への処理委託料	t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

（これまでに実施した取組）

産業廃棄物を処理する責任は排出事業者にあることをしっかりと認識し、産業廃棄物処理業許可を受けた業者を選定し適切に委託契約を結び、マニフェスト伝票を利用し最終処分が終了するまでの確認を行っている。廃棄物の種類によって難しい場合を除き、再資源化を行う中間処理業者と契約を結んでいる。

①計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	木くず	金属くず	ｶﾞﾗｽくず･ｺﾝｸﾘｰﾄくず･陶磁器くず	がれき類	ｺﾝｸﾘがら	ｱｽｺﾝがら
全処理委託量	2.000 t	5.000 t	300.000 t	t	t	30.000 t	1,000.000 t	500.000 t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
再生利用業者への処理委託量	2.000 t	t	300.000 t	t	t	30.000 t	1,000.000 t	500.000 t
認定熱回収業者への処理委託料	t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の種類	混合(安定型のみ)	混合(管理型含む)	水銀使用製品産業廃棄物					
全処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者への処理委託料	t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

（今後実施する予定の取組）

これまでと同様に適切な契約を結び、最終処分までの確認を行うように取り組む。

※事務処理欄	

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

2　　当該年度の６月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)　①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)　②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)　④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書（集計用シート）

提出者の名称	前川建設株式会社　　代表取締役　前川　敏士	提出者の住所	熊本県天草郡苓北町都呂々９１６
事業場の名称	前川建設株式会社	事業場の所在地	熊本県天草郡苓北町都呂々９１６
内容年度	令和　6　年度		

（単位:トン）

廃棄物の種類	現状／計画	排出量	自社内での処理状況				委託先での処理状況				
			自己再生利用量	うち熱回収量	自己中間処理減量化量	自己最終処分量	全処理委託量	委託処理量のうち委託先毎の量			
								優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	熱回収認定業者への処理委託量	熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
汚泥	現状	2.070	0.000	0.000	0.000	0.000	2.070	0.000	2.070	0.000	0.000
	計画	2.000	0.000	0.000	0.000	0.000	2.000	0.000	2.000	0.000	0.000
廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	現状	7.520	0.000	0.000	0.000	0.000	7.520	0.070	0.000	0.000	0.000
	計画	5.000	0.000	0.000	0.000	0.000	5.000	0.000	0.000	0.000	0.000
木くず	現状	452.400	0.000	0.000	0.000	0.000	452.400	0.000	452.400	0.000	0.000
	計画	300.000	0.000	0.000	0.000	0.000	300.000	0.000	300.000	0.000	0.000
金属くず	現状	0.226	0.000	0.000	0.000	0.000	0.226	0.226	0.000	0.000	0.000
	計画	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
ｶﾞﾗｽくず･ｺﾝｸﾘｰﾄくず･陶磁器くず	現状	0.640	0.000	0.000	0.000	0.000	0.640	0.000	0.000	0.000	0.000
	計画	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
がれき類	現状	38.720	0.000	0.000	0.000	0.000	38.720	0.000	35.760	0.000	0.000
	計画	30.000	0.000	0.000	0.000	0.000	30.000	0.000	30.000	0.000	0.000
ｺﾝｸﾘがら	現状	1,249.930	0.000	0.000	0.000	0.000	1,249.930	0.000	1,249.930	0.000	0.000
	計画	1,000.000	0.000	0.000	0.000	0.000	1,000.000	0.000	1,000.000	0.000	0.000
ｱｽｺﾝがら	現状	627.760	0.000	0.000	0.000	0.000	627.760	0.000	627.760	0.000	0.000
	計画	500.000	0.000	0.000	0.000	0.000	500.000	0.000	500.000	0.000	0.000
混合(安定型のみ)	現状	1.300	0.000	0.000	0.000	0.000	1.300	0.000	0.000	0.000	0.000
	計画	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
混合(管理型含む)	現状	0.260	0.000	0.000	0.000	0.000	0.260	0.260	0.000	0.000	0.000
	計画	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
水銀使用製品産業廃棄物	現状	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000	0.001	0.000	0.001	0.000	0.000
	計画	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	現状	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	計画	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	現状	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	計画	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	現状	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	計画	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	現状	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	計画	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	現状	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	計画	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
合　計	現状	2,380.827	0.000	0.000	0.000	0.000	2,380.827	0.556	2,367.921	0.000	0.000
	計画	1,837.000	0.000	0.000	0.000	0.000	1,837.000	0.000	1,832.000	0.000	0.000